

1951年度編集

# 現代用語 の基礎知識

全篇新稿の決定版

比類なき二大特色  
あらゆる現代事象を体系的に分類  
各部門の最高権威が分任して解説

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 政治用語(A)・中村 哲 | 生物用語・湯浅 明     |
| 政治用語(B)・辻 清明 | 天文用語・萩原 雄祐    |
| 法律用語・戒能通孝    | 気象用語・和達清夫     |
| 外交用語・横田喜三郎   | 技術用語・朝比奈貞一    |
| 軍事用語・高木惣吉    | 医学用語・高橋吉定     |
| 経済用語・高島善哉    | 薬学用語・宮木高明     |
| 財政用語・鈴木武雄    | 性科学用語・安田徳太郎   |
| 金融用語・木村禧八郎   | 社会用語(A)・大宅 壯一 |
| 貿易用語・上坂西三郎   | 社会用語(B)・進藤次郎  |
| 株式用語・奥村綱雄    | 社会用語(C)・西村孝次郎 |
| 労働用語・大河内一男   | 家庭用語・今和次郎     |
| 産主主義・細川嘉六夫   | 服飾用語・桑沢洋子     |
| 哲学用語・高桑純夫    | 映画用語・津村秀夫     |
| 歴史用語・林健太郎    | 演劇用語・山田 肇     |
| 宗教用語・岸本英夫    | ラジオ用語・春日由三    |
| キリスト教・小林珍雄   | スポーツ・織田幹雄     |
| 教育用語・海後宗臣    | 野球用語・内村祐之     |
| 文芸用語・本多顯彰    | 世界の新聞・松方三郎    |
| 美術用語・今泉篤男    | 世界の商品・脇村義太郎   |
| 音楽用語・兼常清佐    | 時事地名・飯塚浩二     |
| 物理用語・朝永振一郎   | 進駐軍略語・鈴木文史朗   |
| 化学用語・稻村耕雄    | 各国の呼稱・三井高進    |

特別号

# 社會用語の解説

(A)

大宅 壯一

## ・執筆について……

言葉は生きものであるが、その中でも特にたくましい生活力をもつているのは社會用語である。それはまるで雑草のようなものである。外國からついた荷物の包に附着していた一粒の種が、日本の地におちて芽を出すと、たちまち全國の山野にひろがつたなどという例は珍らしくない。新しい社會用語の傳播力やそのスピードは時にはそれ以上で、インフルエンザを想わせる場合すらある。最近では日大事件の山際が使つたという「オウ・ミステイク」というのがそれだ。この言葉ほどいわゆる「ティーン・エージャー」(十代)の特性の一つとされる道徳的反省力の缺除を端的に示しているものはない。

一方ではまた、一時バツと流行して、やがて流星のように消えて行くものもある。言葉は現象の投影にすぎないから、現象そのものが社會から姿を消すと、言葉もいつのまにか消えて行くのである。そうかと思つと、一昔前に流行した古い言葉が、新しい意味をもつて登場してくることもある。修道院における娘たちの生活を描いた映畫の題名「格子なき牢

獄」が、最近の追放解除と共に、追放中の生活を意味する言葉として甦つてきたのは、その一例である。

終戦直後は、進駐軍との接觸によつて生れた日米混血語が、一時にどつと氾濫した。それがやや下火になつて、外國映畫、翻譯文學、放物資等を通じて、新しい社會用語も大量に放出されつつある。朝鮮動亂と共に生れた言葉も少くないが、さらに中共の勢力が何等かの形で日本にのびてくるようになれば、この面でも新語が續々生れるであろう。かつては「軟禁」という中國語がそのまま日本語になつたこともあるが、最近では「一邊倒」が流行語の一つになつている。中國は同種同文の國であるだけに、この傾向は今後ますます甚だしくなるであろう。

編者は、ほとんど無盡藏といつてもよいこれらの新語を大量に採集し、その中で新日本語としてすでに或る程度普及しているものを選んで解説した。それも單に辭書的な解説だけではなく、これに批判的な検討を加え、それを通じてこの混沌とした時代の性格を理解する上に多少なりとも役立つようにと心がけたつもりである。

## 最近の生活

**一 邊倒** 特定の一對象にすべてを傾倒して他をかえりみないという意味の中國語で、中國共產黨は目下「向ソ一邊倒」で進んでいるわけである。日本では共產黨の「向ソ一邊倒」に對し、自由黨その他の保守黨は「向米一邊倒」を示し、中間の社會黨や一部の學者が、全面講和、永世中立といふどつちつかずの態度をとつていふので、問題になつていふ。一般的には、もつと卑俗な意味で、男が女に一邊倒、即ち「首つたけ」といつたような場合に用いられている。

**エデンの花園** キリスト教の神話で、大昔人類の祖先であるアダムとイヴが、蛇に誘惑されて智慧のリンゴを食べ、悪いことを知る生活に入る前に住んでいたという樂園。

チグリス河とユーフライト河に挟まれた一地方だともいうが、日本の高天原と同じようなものである。吉田首相が戦後日本の平和的地位を形容して「エデンの花園」といつたのが、代名詞として流行しはじめたのである。

**曲學阿世** 「學を曲げて世に阿る」という古くからある熟語だが、吉田首相が南原東大總長に對してこの言葉を使つたといふので、俄然世間の注意をひき、ついに流行語になつた。南原始め一部の學者が、原則的な立場から全面講和を唱え、首相にはよほど續にさわつたと見えて、ついでにいつた言葉が出たらしいが、政治家として近代的感覺の不足を示すものとしてわざとしばしばこの言葉が引用される。

**左翼小兒麻痺** 客觀的な情勢や自分たちの實力を考えないで、ひとりよがりの觀念論をふり廻す共產主義者のことをこれまで「左翼小兒病」と呼ばれていたが、最近はそのように進んで、馬鹿の一つ覚えのように古い戰術戰略をうのみにして、どんな場合にもそれで押しきろうとする傾向がある。また或る個人の共產主義者としての頭の發達がある時期に停止してしまつて、それ以上に成長しないものもある。ただの小兒病なら治療の方法も見込もあるが、小兒麻痺は一度かかると死ぬまで治らぬといふので、この言葉ができた。

**考える葦** フランスの有名な科學者で宗教性の強いパスカルの名著「隨想錄」の中に、「人間は實際の葦にすぎない、しかしそれは考える葦である」といつている。そこからこの言葉は近代的な知識人の代名詞のように用いられるようになつた。石川達三の小説「風にそよぐ葦」もやはり同じ意味に用いられたもので、この場合インテリは、戰爭という暴力の前には、風にそよぐ葦のように無力で、無抵抗な存在であることが諷刺されている。

**二十五時** ルーマニアの作家O・Vゲオルギウの小説の題名である。ルーマニアの一農民が第二次世界大戰中に、徴發されて酷使されたり、スパイとまちがえられて半殺しの目にあつたりしながら、樞軸軍と連合軍の間を木の葉のように轉々する生活を描き、大國の間に挟まれた小さな國の人間が、いかにみじめなもので、本人の意志や自由や希望が片つ端から踏みこまれて行く姿をまざまざと寫し出してゐる。廿四時のつぎは午前一時だが、そうはいわずに「廿五時」といつて、「もはや手おくれ」絶望の時刻」といふ意味を寓してゐる。

**きけ・わだつみの聲**

戦時中、學業半ばにして戦地に驅り出され、軍國主義の犠牲となつて斃れた學生たちの手記が、この名前で出版されて、ベストセラーとなつた。

後にこれが東横映畫によつて映畫化され、これまた壓倒的な人氣を呼んで、平和思想を鼓吹する上に大いに役立つた。近頃はこれが戦争を呪う言葉の代名詞としてひろく用いられている。

**まげ・下づみの聲** 「まげ・わだつみの聲」をもじつたものである。社會の下積みになつてインフレや失業や税金で痛めつけられている層の聲は、現在の政權を擔當している人々の耳には少しもとどかない。

**格子なき牢獄** 昔日本に入つた映畫で、修道院に入れられた若い娘たちが楽しい青春を臺なしにする生活が描かれていて、それにこの題名がつけられていたが、最近追放

解除になつた人々は、追放中の生活をかえりみて「格子なき牢獄」のようなものだといつたので、この言葉がまた新しい意味をもつて復活した。

**ティーン・エイジャー** (teen-ager) アメリカからきた言葉で、あちらでは主として流行の傾向を示す場合などに「十代娘」という意味に用いられているが、日本では戦後派男女のより若い層に用いられている。

**カーテン・レクチュア** (curtain lecture) 「閨房内の講義」という意味で、寢床の中で妻から、いろいろと要求されたり、暗示を與えられたりしたことが、夫の公的生活の上に大きな影響をもつていふことは、古今東西の歴史に見られる顯著な事實である。日本では「淀君」という言葉でこの意味を表わしてゐる。吉田首相の場合は、妻ではないが娘の麻生多賀吉夫

人和子が、一種の淀君的存在として直接父に對し、或は夫を通じて、政界に大きな陰の權力をふるつていふといわれている。

**老いらくの戀** 有名な歌人で第一回藝術院賞をうけた六十八歳の川田順が、その門下生で京大教授の妻である四十歳の鈴鹿俊子と戀愛に落ちて家出をした。その際かれが友人に送つた詩の一節に「墓場に近き老いらくの戀はおそるる何ものもなし」という文句があつた。その後漢學の大家である鹽谷温が七十二歳で昔馴染みの新潟藝者と結婚したりして、この言葉が時の流行語となつた。

**ロスト・セックス** (lost sex) 「失われた性」の意。戦後新憲法で男女同權が認められて以來國會議員その他に婦人の進出目覚ましく、各方面で大いに活躍しているのはいいが、かの女たちは次第に

女らしさを失つて中性化しつゝある。結婚によつて男子に隸屬することを嫌つて獨身主義で通すものもあれば、心ならずも婚期を逸してしまふものもある。

**三十八度線** 最近の若い男女交際が肉體關係を軽く見ているアプレ的現象から生れた言葉で、南北朝鮮のかつての境界線北緯三十八度線から女性の貞操を意味する言葉になつた。// 絶対三十八度線を越してはだめよ」など最後の線の別名である。

**過剰防衛** 強盜が兇器をもつて向つてきたとき、こちらも有り合わせの武器でこれと闘い、相手を傷つけたり殺したりしても、これは完全なる正當防衛だから罪にならない。しかし逃げて行くコソ泥を後から追つかけて、斬りつけたり打ち殺したりすると、過剰防衛の罪に問われる。しかしこういふ場合は誰でも

ぼせ上つて正しい判断を降す餘地がないもので情状によつては、刑法三十六條二項によりその刑が輕減又は免除されることになつてゐる。近頃は普通の人間よりは警察官で拳銃の暴發などによつてこれを犯すものが多い。

## 戦 後 人 種

**キガネ學派** 大學教授の多くは俸給だけではやつて行けないので、學生と同じようにアルバイトしなければならぬ。教授のアルバイトとしては、著書を出すと、雑誌に原稿を賣るほかないのであるが、そのお得意はほとんど學生層である。ところが、學生層の大部分は多かれ少かれ左翼的傾向をおびてゐる。そうでないものは本などを讀もうとしない。そこでこの學生層から「反動」の烙印を押されることは、教授たちにとつ

て致命的である。だからかれらの多くは學生の顔色を伺い、かれらの間の人氣を絶えず氣にし、いつも氣がねばかりして、はつきりと自分の意見ものべられない氣の毒な存在と見られるのである。

**斜陽族** 終戦と共に日本の社會的性が一變したが、貴族や有産階級で苦勞しらずに生活してきたものは、この新しい社會に適應して生きて行く力がなく、没落するものが多い。そういう身分の人間を描いた太宰治の小説「斜陽」からこの言葉が生れた。

**プチ・ブル** (Petit bourgeois) 資本家と無産者の兩階級の間にある階層で、小市民、中産階級などと呼ばれる。階級としての独自の特色をもつていないが、思想上は資本家的な考え方に傾き、立場としては無産階級の生活に近よつてゐるのが多い。こうした態度の悪い面を指してプ

チ・ブル根性という。中小商工業者・技術者・職員・自由職業者らを含み、多少とも教育を有する社會層。

### 小市民階級 右と同じ。

**類似インテリ** 疑似インテリともいう。「類似宗教」の「類似」と同じで、形はインテリに似ているが、頭の内容やたつきは、インテリらしい知性を缺き、自主的な判断を下すことができず、たやすく時の流行に動かされるもの。事大主義で、權威にもろく、軍部が盛んなときは、これに尻尾をふるが、民主主義の時代がきたとなると、何事によらず民主主義でないとおさまらぬという風。戦後共産黨の御輿をかついだものの中にもこれが多い。

**デイス・インテリ** デイス・インフレ(インフレの抑制)から轉用された言葉である。相當高い教育をうけて、世間では知識人として通

用しているが、實際の頭のはたらきからいうと、知性が足りなくてインテリとはいえない。書物を讀んではいるが、その内容をほんとは理解してゐないので、時々見當ちがいのことをいつてボロを出すというようなのが、大臣級の人物の中にも少からずいる。この種の「似而非インテリ」をいう。

### 同調者

以前共産黨員ではないが、共産黨を外から支持したり、黨や黨員に經濟的援助を與えたりするものをシンパ(黨同情者)と呼ばれ、治安維持法によつて罰せられた。最近行われたレッド・パージ(赤追放)に際しては、黨員ではないが、黨員に準ずるような言動ありと見なされたものは、「同調者」という名で、黨員と等しく職場を追われた。フェロー・トラベラーの譯語である。

# プロ 野 球

## メージャー・リーグ

(Major League) アメリカの大リーグのこと、ナショナル・リーグとアメリカン・リーグがこれである。両リーグとも各々八チームで構成さる。

## ナショナル・リーグ

(National League) 米國プロ野球の大リーグの一つ。次の八チームよりなる。ニューヨーク・ジャイアンツ、シカゴ・カッブス、ボストン・ブレーヴス、ブルックリン・ドジャース、シンシナティ・レッズ、セントルイス・カーディナルス、ピッツバーグ・パイレーツ、フィラデルフィア・フィリーズ。

## アメリカン・リーグ

(American League) 米國プロ野球中、ナショナル・リーグに對する大リーグ。八チームあり、ニューヨーク・

ヤンキース、シカゴ・ホワイトソックス、ボストン・レッドソックス、クリーヴランド・インディアンス、デトロイト・タイガース、ワシントン・セネターズ、セントルイス・ブラウンズ、フィラデルフィア・アスレチックスである。

## マイナー・リーグ

(Minor League) メージャー・リーグに對する小リーグのこと。これがAAA、AA、A、B、C、Dのクラスに分れている。

## セントラル・リーグ

九四九年のシーズンが終ると、かねてから日本職業野球連盟に加入を申込んでいた新野球團の加盟問題をめぐり、日本職業野球連盟は二つに分裂し、それぞれセントラル、パシフィックと新リーグを結成し、一九五〇年度の公式リーグをおこなった。セントラルリーグは一九四九年度の優勝チーム讀賣巨人軍を中心に阪神、松竹、中日、大洋、

西日本、廣島、國鐵の八球團によつて編成されている。

## パシフィック・リーグ

参加チームは南海、阪急、大映、東急の舊チームに毎日、近鐵、西鐵の七チームである。(セントラル・リーグ参照)

## 讀賣ジャイアンツ

ジャイアンツとは英語の Giants のこと。巨人の意。日本職業野球の草分けチーム。

## 阪神タイガース

タイガースは Tigers で猛虎のこと。松竹ロビンス ロビンスとは Robins で駒鳥のこと。

## 中日ドラゴンズ

ドラゴンズは Dragons で龍のこと。大洋ホエールズ ホエールズは Whales で鯨のこと。

## 西日本パイレーツ

パイレーツは Pirates 海賊の意。廣島カープ カープとは Carp で鯉のこと。

## 國鐵スワローズ

スワローズとは Swallows で「つばめ」のこと。

南海ホークス ホークスは Hawks で鷹のこと。

## 大映スターズ

スターズは Stars で星の意。阪急ブレーブス ブレーブスは Braves で勇士。

## 東急フライヤーズ

フライヤーズとは Flyers で鳥人とか急行列車の意。毎日オリオンズ オリオンズは Orions でオリオン

## 近鐵パールズ

パールズは Pearls で眞珠の意。西鐵クリップス クリップスとは Clippers で大飛行艇のこと。

## オール・スター・ゲーム

(All Star Game) アメリカのアメリカン、ナショナル両リーグの優秀選手をピック・アップして、毎年七月におこなうゲーム。一九三三年、シカゴで催された二十世紀文明博覽會の行事のひとつとして發足した。兩チームの

一般用語

プレス・コード (Press Code)

連合軍が日本に進駐した直後の一九四五年九月十九日付で、連合國最高司令部から日本の新聞に與えられた「新聞遵則」である。この遵則は日本の新聞が守らなければならぬ規約十カ條を擧げるとともに、新聞にたいする制限を目的とするものでない點を強調している。

圓本

昭和三、四年ごろ、改造社が日本文學全集と銘うつて、單行本を一圓で豫約賣出しを行い、當時の出版界に一大センセーションを捲起して以來圓本は廉價本の代名詞の如くなつた。

ゾッキ本

都會の盛り場や夜店などでたたき賣られている本。ゾッキの語源は出版社の倉庫に積上げられている

大量の殘本を「ソックリ」買うというのが隱語化したもの。

國際新聞會議

新聞の自由情報の交換を目的として ASSNE (American Society of Newspaper Editors) が一九五〇年九月から十月にかけニューヨークに招集した各國新聞編集者の會議で、日本からは毎日新聞社長本田親男氏が出席した。毎年一回開かれる豫定で、今年が第一回會議である。

アメリカの

新聞通信社

**NBCニュース** (National Broadcasting Company) ニュース放送でとくに有名なナショナル放送會社のニュース。(ラジオの同項参照)

UP (United Press)

米國の三大通信社の一。株式組織の營利通信社で、ニュースが早いというのがUPの

モットー。國內だけで十六萬マイルの専用電話線を持ち、毎日十五萬語前後のニュースを世界中に無線ないしテレタイプ(電送文字)で送っている。規模の點では若干APに劣るがAPとUPとがアメリカでの二大通信社である。

AP (Associated Press)

前記UPと對立する大通信社で、營利を目的とせず、新聞社を會員とする非營利組織である。現在APに加盟している米國新聞社の數は約千四百五十社で、これらの新聞がそれぞれ發行部數に應じて維持費を分擔している。ニュースの早さではUPにしてやられる場合が多いが、正確なニュースをとるのがAPのモットーである。

INS (International News Service)

規模においてこそ前記APとUPには劣るが、米國の三大通信社の一として老大な國內専用電話

線と世界各地に特派員をおいている。INSは營利的通信社で、素破抜き記事と早い報道でときどき世界をあつといわせるのが特徴。

NANA (North American Newspaper Alliance)

北米新聞連合と譯されニューヨークタイムズ紙と契約ある評論家が組織している通信團體である。

USIS (United States Information Service)

米國務省の編集する對外モールス放送で、米國の立場を世界に知らせる目的で國務省の國際文化情報局が仕事に當つている。ニュースは主として米國の國內的なもので、一般通信社や新聞社のニュースと異つて、事件ニュースよりも重要法案、大統領や各省長官の演説の正文、全文または要旨、新聞論調などに重點がある。

ハースト系 (Hearst Papers)

米國の新聞企業家とし

# 商品用語の解説

脇村義太郎

## ・執筆について……

何が世界的に有名な商品か。その選擇の標準をきめることは容易でない。試みにアメリカの高級綜合雜誌である「フオーチューン」の最近號（一九五〇年一〇月）をとつてその廣告をみてみよう。同誌は經營者のための雜誌という宣傳をしているだけに記事はむろんのこと、廣告も、經營者を目的としたと考へられるものが多い。たとえば工場誘致のための工業用土地提供の公共團體の廣告があつたり、一流の機械メーカーや事務用機械の廣告が注目をひく。銀行、保險、鐵道、航空會社の顧客吸引のための廣告も少くない。

しかし一〇月號のみならず、最近の「フオーチューン」每號をみて氣のつくことは大化學工業會社の廣告が壓倒的に多いこと、化學工業の競争、進歩の激甚を物語る一つの資料でもある。さて残つた半分ほどの廣告は、自動車、時計、洋酒で、經營者の必要品ともいふべきもので占められている。そして自動車はアメリカ製が多いが、洋酒はスコツチウイスキははじめシエリ、ベネデイクティン、コニアツクなどあらゆる種類の外國品がずつと出ているが、アメリカ品は二、三のケンタツキー・ブルボンに限られている。時計もハミル

トン、エルデンをのぞけばすべてスイス時計のみである。ほかに一、二の高級洋服店、帽子屋の廣告がある。

これで廣告の種類は全部であるが紳士の必携の商品としてはしかしこれだけでは不足である。煙草、パイプ、萬年筆、カメラなどがどうしてもなくてはならない。昔は煙草の廣告も相當多かつたか、近頃この雜誌に廣告しなくなつたのはどうしたことだろうか。食後のコーヒー、紅茶も不可欠な商品であるが、それらは、「フオーチューン」ははじめ一般雜誌には殆んど廣告されていない。

しかし、それらの分野においてはリプトンや、A・アンドP・ヤジエネラル・フツツ・コーポレーションなどのごとき大企業が形成されていて、しばしばトラスト法違反問題を惹起して、「フオーチューン」もときどき本文でとりあげている。それで、本文からこの分野における有力な商品をえらび出すことは困難ではない。過去二年間ほどの「フオーチューン」の廣告と本文を中心にしてこゝにあげた種類の項目についての代表的な商品名をえらんでみた。すべてについて、解説をすることは不可能であるが、一應代表的なものは網羅できたであらう。



## 自 動 車

### アメリカの自動車

アメリカ的生活とは何かといえ  
ば、自動車であろう。自動車  
の出現によつて、その社會生  
活は一變したばかりか、道徳  
も、物の考え方までが變化し  
てしまつたことは識者の指摘  
するところである。今日では  
自動車なしでは、彼等の生活  
は一日も送れないほどになつ  
ているのである。そしてその  
自動車は、それぞれ各人の經  
濟力に應じて適當な價格で手  
に入れることが出来るようになつており、いかなる人も自  
分の好む型の車を注文してつ  
くらす者はなく、大量生産さ  
れた規格品を買つて乗廻して  
いる。すべての人がその車に  
使用するガソリンにいたつて  
は、全く同一品質である。ア  
メリカは自動車を現在一カ年  
六百萬臺以上を生産して、斷

然、他の國々を引離してお  
る。アメリカにつぐ第二の自  
動車生産國であり、最大の輸  
出國であるイギリスはアメリ  
カの僅か一割前後の生産力し  
かない。またアメリカは世界  
最大の自動車輸入國として、  
ヨーロッパ各國の自動車の競  
争的販賣市場となつてゐる。  
アメリカの自動車は大體高  
級、中級、下級の三種に分類  
され、大自動車會社は、これ  
ら三種の自動車を賣り出し  
てゐる。一九五〇年型につい  
て、アメリカの消費者連盟の  
嚴密な調査の結果による分類  
をかかげると、次ぎのとおり  
である。

#### (1) 下級車 (工場渡價格一四

五〇—一九〇三ドル) フ

ォード (Ford) シボレー

(Chevrolet) プリマス

(Plymouth) ステュード

ベーカー (Studebaker)

ポンティアック (Pon-

tiac) ナッシュ (Nash)

#### (2)

ダッジ (Dodge)

中級車 (一九三三—二三

五九ドル) デソト (De-

soto) ハドソン (Hud-

son) ビック (Buick)

マーキュリー (Mercu-

ry) オーツモビル (Old-

smobile) フレーザー

(Frazer) カイザー (Kai-

ser)

#### (3)

高級車 (二五七五—三九

三五ドル) クライスラー

(Chrysler) パッカー

(Packard) リンカーン

(Lincoln) キャデラッ

ク (Cadillac)

これで見ると戦後派は、カ  
イザー、フレイザーのみで、  
他の自動車は戦前からのもの  
ばかりである。

### イギリスの自動車

航

空機工業からの轉換を利用し  
て乗用車工業の復興を行い、  
年産能力八〇萬臺に達し、外  
貨獲得を目標として、生産額  
の七〇%以上を海外市場、こ

とにアメリカ市場に賣出して  
いる。イギリスの自動車の特  
長は、小型自動車が多いこと  
と、高級車に世界的名譽をも  
つものがあることである。イ  
ギリスには現在約三十の製造  
業者があるが、オーズチン  
(Austin) フォード (Ford)  
ナフィールド (Nuffield) ル  
ーツ (Rootes) スタンダー  
ド (Standard) ヴォックス  
ホール (Vauxhall) の六社  
が、ビッグ・シックスといわ  
れ、全生産の九〇%を占めて  
いる。それらの中には従來  
中級車をつくつていたスタン  
ダードのごときものもある  
が、戦後はいずれも三五〇ポ  
ンド乃至四六五ポンドの小型  
下級車の製造に力を注いでい  
る。高級車ロールスロイス  
(Rolls Royce) ベントレー  
(Bentley) およびダイムラ  
ー (Daimler) 等の高級車は  
國內販賣價格はいずれも五五  
〇〇ポンド乃至六五〇〇ポ

ドといふところである。高級車といわれるロールス・ロイスは、現在、クルースの舊航空機機関工場を轉換した大工場でつくられ、一週二〇臺の割合で製造されている。

**獨逸自動車** **ダイムラー**

**ベンツ** (Daimler Benz) ドイツ自動車の大衆向のもの。ダイムラーベンツの名はドイツ自動車の歴史上忘れられぬもので、十九世紀末ダイムラーがドイツで始めて今日のエンジンをもつ自動車を造つた。なおホルクスワーゲン (Volkswagen) というのが戦後紹介されているがこれは大衆車である。

**伊太利自動車** **伊太利自動車**

高級車では**インタ・フラスキー** (Isotta Fraschini) が知られイタリー Turin で一九四八年開かれた國際自動車展示會に出品され後部にエンジンをつけた斬新なスタイルが注目された。**フィアット**

**ト** (Fiat) は恐らく世界の最も美しい車であろうとまで言われる小型車。この外、ランチャ (Lancia) チスタリア (Cistalia) アルファ・ロメオ (Alfa-Romeo) などが、ぼつぼつアメリカに進出している。

**佛蘭西自動車**

フランスの自動車で海外に出ているものには**ダライユ** (Dalahaye) シトロエン (Citroën) などがあり、中位の価格で小型車部門で知られているのにシムカ (Simca) ルノール (Renault) などがある。ルノールは後部エンジンをもちた新型である。

**ポビダ**

ゴリキキー市のソ連最大の自動車工場、モロトフ工場で製作されたもの。

**ラジオ・セット**

**世界のラジオ**

ラジオ・セットは半ば各家庭の必需品

となつてはいるが、各種装置の製造業者がその擁する大資本を用いて、理論上、技術上の研究を競い、各社の製品は性能、意匠、価格の點でも大差ない。テレヴィジョンの普及に伴い、各社はその販賣競争により、高性能のセットを比較的廉價に供給するようになろうとしている。世界的な製品製造業者の名をあげると次の通り。

**RCA** (Radio Corporation of America) 略。

米國有數のラジオ、テレヴィジョン、その他録音、再生關係諸装置機械器具の製造業者、製品にはRCAの總括名稱が必ずつけてある。同社はGE (ジェネラル・エレクトリック社) の系統に屬し一九一九年の創立、現在では一大コンツェルンを形成している。米國市場は勿論、世界市場で極めて強い地位を占めて

いる。ことに高級セットの分野では他を抜いている。

**ファイル** (Philco Corporation) の略。テレヴィジョン・セット、ラジオ・セット、電氣蓄音器、家庭用冷蔵庫、乾電池等及びこれの附屬部品の生産販賣を行う。一八九二年に創設、元來は蓄電池、その他乾電池の製造を主としていたが、ラジオの普及とともに一九四〇年**ファイル**・ラジオ・テレヴィジョン會社を支配下におき、現在の名稱に改めた。R・O・Aと弱電流装置の製造で、はげしい競争を展開している。

**ゼニス** (Zenith Radio Corporation) の略稱。一九二三年米に設立、ジェネラル・エレクトリック、R・O・A ウェスチングハウス等の技術を使用して、ラジオ、テレヴィジョン、電氣蓄音器等及びその部品の製造、販賣を行っている。中等製品の製造業者として獨自な地位を占める。

## タイプライター

## 最近のタイプライター

今日、英文タイプライターの機構はほぼ行きつく所まで行つたという感が深い。それだけに各製造會社とも製造技術の上ではほぼ同一水準にあり、意匠にその特色が發揮されてゐる状態である。最近のタイプライターで、注目すべき改善は固定的な事務室用タイプライターに電気モーターを附屬し、タイプ・バーの作動をこれに受持たせ、指の負擔を著しく軽減し、また仕事全體のスピードを増加せしめたこと、キー・ボードをプラスチックスチックス板に改め、その形を指先の接觸を有益に修正したこと、鍵前から實施されていたが、打字の際に生ずる各種の雑音の消去に努力し、いわゆるノイズレス (Noiseless) またはサイレント (Silent)

と稱する機械の普及したと、各社とも外形を流線型に近付けようと努力し、概して従来よりスマートとなつたと等である。次に擧げる各社の製品は米國製品の主なもので、なかでもアンダーヴッド、L・O・スマスは古くからわが國でその名がよく知られてゐる。

## アンダーヴッド (Underwood)

本社はニューヨーク市にある。固定的な事務室用のもの (電気作動式標準型) を多く供給するほか、事務用器具を供給している。わが國で廣く使用されてゐる。

## レミングトン・ランド

(Remington Rand Inc.)

一九二七年に設立。今日ではタイプライターに限らず、廣く事務用機械、器具等を製造してゐる。携帯用タイプライターは従来輕量なのを特徴としたが、最近型は意匠の流線型化に伴いかなりかさばり、

多少重量も増してゐる (輸入代理店は第一物産)。

## ローヤル (Royal Typewriter Co., Inc.)

本社はニューヨーク、創立一九一三年。タイプライター、同部品、タイプライター、リボン、カーボン紙等を製造。創業は比較的新しいが、それだけに意匠は最新である (輸入代理店丸善)。

## L・C・スマス・コロナ

(L. C. Smith and Corona Typewriters, Inc.)

アンダーヴッドとともに歴史が古い。一九二四年に設立、一九二九年にコロナと合同して現在に至る。主な製品は事務用標準型、及びサイレント型、携帯用タイプライターであり、傍らリボン、カーボン紙等をも供給している。L・O・スマス・タイプライターは内外において優れた事務器として長く事務所内で愛用され、コロナは携帯用のものと

して今日最も、輕量小型なものの一つである (輸入代理店は黒澤商店)。

## カメラ

## 最近のカメラ

今日、普通のカメラは使用するフィルムの大さで、すなわち三五フィルム (畫面は二八×三五) 使用のものとプロミニフィルム使用のものに大別され、後者はさらにフィルム一本で八枚撮り、一二枚撮り、一六枚撮りに細分される。これ以外の大きさのものもあるが全體としては少數である。また外形上、撮影用レンズ一個着いてゐるものと、撮影用レンズと同様のフライダ用レンズをさらに一個持ち、その結果映像をカメラ内の反射鏡でカメラ上部のピント硝子に投影する形式のもの (普通二眼レフという) に分けられる。また前者は機體に收められた